

## インテグリティ精神に反するTFの処置・報告について

JBA から通達が来ている通り、インテグリティ精神に反するTFは各カテゴリーでのブロック大会、全国大会において、報告が義務付けられるほど注目されています。特にミニでは、昨年の県大会においてもコーチによる暴力行為によりテクニカルファウルが宣じられる事例がありました。いずれも明らかな暴力行為で、許されるものではありません。同時に、暴言について昨年は報告がありませんでした。もしかしたら、暴言については、寛容されてしまったり、聞き逃したりしたものがあつたかもしれません。ワッペンに級に関係なく、どの試合でも同じようにインテグリティ精神に反するTFが適用されるようにご協力をお願いします。

### プレーコーリングガイドライン20190401より

1ファウルとは

#### (1) 基本的な考え方

③審判は、JBAが推進する「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」を実践するため、コート上でのイリーガルな「触れ合い」および「振る舞い」に対するファウルを、競技規則およびプレーコーリングガイドラインに則り適切に判定することを求められている。

#### (3) 振る舞いに対するファウル

振る舞い(コンタクトのあるタウンティング<威嚇行為>)に対するファウル)について、審判は感情的になることなく、競技規則およびプレーコーリングガイドラインに則りシンプルに判定する必要がある。テクニカルファウルにおいても、他のパーソナルファウルと比べて特別に扱うということはなく、リスペクトフォーザゲームの観点も含め、起きた振る舞いに対して判定をする。

### 具体例

ゲームの進行を遅らせる行為(ディレイオブザゲーム)

- ・ショットが入った後のボールに触れる(1度目はOW、2度目はTF)
- ・ボールがすばやくスローインされることを妨げる(1度目はバイオレーション、2度目以降もしくはゲームの残り2分ではTF → プリベンティブシグナルを行うこと)

MC(マンツーマンコミッショナー)やTOに対するクレーム、判定に対するクレーム

コーチのプレーヤーに対する暴言

- (1) 人格・人権・存在を否定する言葉 ex.最低、クズ、きもい、邪魔、出ていけ、帰れ、死ね、てめえ
- (2) 自尊心を傷つける、能力を否定する言葉 ex.役立たず、下手くそ、アホ、バカ
- (3) 身体的特徴をけなす言葉 ex.チビ、デブ
- (4) 恐怖感をあたえる言葉 ex.殴るぞ、しばくぞ、ぶとつばすぞ、帰りたいの?、試合出たくないの?

### コーチの暴力的(攻撃的・虐待的含む)振る舞い(行動・行為)

- (1) 殴る・蹴るなどを連想させる行為
- (2) プレーヤーと近接(顔の目の前、腕一本分より近い距離)して高圧的威圧的に指導する行為
- (3) 「おい!」「こら!」と大声でプレーヤーを高圧的威圧的に指導する行為
- (4) 継続的、かつ、度を超えた大声でプレーヤーを指導する行為、いわゆる怒鳴りつける行為
- (5) 物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為

第三者が不快と感じる振る舞い(行動・行為)

- (1) 不潔な服装、裸足やスリッパでの指導

### プレーヤー UF、TF 2回で退場

コーチ B3回、C2回、もしくはB2回とC1回で退場 マンツーマンペナルティ3回で退場

◎Aチームは取り上げたのに、Bチームは取り上げないということがないように

◎「さっきの試合では取られなかった」といわれないように

試合中、コートの中のプレーヤーだけでなく、コーチやベンチパーソネルにも注意を払う必要があります。

本大会は、2日目の男女準々決勝よりインテグリティ精神に反するTFについて報告の義務があります。

準々決勝以降の試合の担当審判は、添付してある Excel ファイルを事前に確認していただき、事例がありましたら報告をお願いします。

**【報告の流れ】 担当審判 → U12 担当久山 → 森田県審判委員長**